考査項目	細別	対象	評価対象項目
2.施工状況	Ⅰ.施工管理		□ ①契約書第18条に基づく設計図書の照査結果を適切に処理していることが確認できる。
			□ ②施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。
			□ ③施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。
			□ ④施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。
			□ ⑤工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。
			□ ⑥使用する材料,機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。
			□ ⑦一工程の施工の確認の報告が、適切に行われているが確認できる。
			□ ⑧建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。 □ ⑨社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っているこ
			□ 9社内保証が計画的に行われ、出来形、m具等の管理を工事主放にわたって下方に行っていることが確認できる。
			□ ⑩独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。
			□ ⑪工事の関係書類及び資料の整理がよい。
			□ ⑫その他
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			評価
a:施工管理; 施工管理が不		。b:	施工管理が良好である。c:施工管理が適切である。d:施工管理がやや不適切である。 e:
該当項目が90%以上			①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価 a すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満			b ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満			c ③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100
該当項目が60	%耒満		d
	評価=		項 項目 %

検査員用2

考査項目	細別	対象		評価対象項目
3.出来形	1. 出来形		□ ① 承	諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
及び			□ ②施	江図等が、設計図書を満足しているが確認できる。
出来ばえ			□ ③施	江計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認でき
			る。	
				1来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。
			□ ⑤出	来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。
			□ ⑥瑪	3場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。
			□ ⑦瑪	場における出来形が良好で、施工の精度が高い。
			□ 8不	可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。
			□ 9	解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確
				Rできる。
			□ ⑩そ	
				理由:
			(減点)	該当すればd評価とする。
			□ 出来	形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
			(減点)	該当すればe評価とする。
			□ 出来	形が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。
		•	•	評価
a:出来形が	持に優れてい	る。	a':出来是	ドが優れている。b∶出来形が特に良好である。b'∶出来形が良好である。
出来形が適切]である。d:	出来	形がやや	不適切である。e:出来形が不適切である。
該当項目が90	0%以上		а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価
				すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80)%以上90%未	満	a'	②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が70%以上80%未満 b			b	③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100
該当項目が60%以上70%未満 b'			b'	
該当項目が50%以上60%未満 c			С	
該当項目が50)%未満		d	
	評価=		頂	項目 %

| 評価 = | 項 | 項目 % | ※1出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計 図書を対比することにより評価を行う。

考査項目	細別	IJ	対象		評価対象項目
3.出来形	Ⅱ. 品質	重			料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
及び	建築	工事		□ ②施	江の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。。
出来ばえ				□ 3材	料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。
	工事比	/率		□ ④品	質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。
				□⑤施	工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。
				□ ⑥建	具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満
			П		ていることが確認できる。 [体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。
					外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき良好であるが確認できる。
				97	の他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、
					であるが確認できる。
				□ ⑩不	可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。
				□ (1)¢	間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
				□ ⑫そ	の他
					理由:
				(減点)	該当すればd評価とする。
				□ 品質	の管理に関して、監督職員が文書による指示を行い改善された。
				(減点)	該当すればe評価とする。
				□品質	が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。
					評価
		-			憂れている。b:品質が特に良好である。b':品質が良好である。
C:品質が週5	刃である。	。d:	品質	かややイ	S適切である。e:品質が不適切である。
該当項目が90)%以上			а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価
 該当項目が80%以上90%未満 a'			満	a'	すべき項目でない場合は空白のままとする。 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。
				b	③評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) ×100
				b'	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
				С	
該当項目が50				d	
	評価	<u> </u>		項	項目 %

- ※1. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する 各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象		評価対象項目				
3.出来形	. 品質	V128/	_ (1)					
	11. 叩貝			終材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。。				
及び	電気設備工事		□ ②施	江の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。。				
出来ばえ	受変電設備工事		□ ③機	終材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。				
	工事比率		□ 4 ਜ਼ਿ	質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。				
			□ ⑤施	工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。				
			□ ⑥施	江の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。				
				ステムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満ていることが確認できる。				
			□ ⑧シ	ステムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。				
			□ 9不	「可視部分となる品質が工事写真、施工記録等により確認できる。				
			□ 10 申	『間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。				
			□ ① 運	転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。				
			□ 127	- の他				
				理由:				
			(減点)	(減点) 該当すればd評価とする。				
			□ 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。					
			(減点) 該当すればe評価とする。					
			□品質	が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。				
				評価				
a:品質が特	に優れている。	。a'	:品質が修	憂れている。b:品質が特に良好である。b':品質が良好である。				
		品質		下適切である。e:品質が不適切である。				
該当項目が90]%以上		а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価 すべき項目でない場合は空白のままとする。				
 該当項目が80%以上90%未満 a'			a'	②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。				
該当項目が70%以上80%未満 b			b	③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100				
該当項目が60)%以上70%未	満	b'					
該当項目が50	0%以上60%未	∈満	С					
該当項目が50)%未満		d					
	評価=		項	項目 %				

- ※1. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する 各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象		評価対象項目
3.出来形	Ⅱ. 品質		□ ①機	材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
及び	暖冷房衛生設備 工事等工事		□ ②施	五の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。
出来ばえ	機械設備工事		□ ③機	は材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。
	工事比率	1	□ 4 \(\bar{\pi} \)	質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。
			□ ⑤施	江の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。
			□ ⑥施	五の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。
			_ ⑦シ	ステムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を
				としていることが確認できる。 マステムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。
				マアムの住能及の機能に関する配連報の確認が広に工人がある。 マ可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等により確認できる。
			l	
				間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
			_	型転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。
			□ ⑫₹ I	
				理由:
			(減点)	該当すればd評価とする。
			□ 品質	色の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
			(減点)	該当すればe評価とする。
			□品質	が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。
				評価
		-		憂れている。b:品質が特に良好である。b':品質が良好である。
c: 品質が適t 該当項目が90		:品質	びややイ a	適切である。e: 品質が不適切である。①「対象 欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価
欧马项目 // 50	7/0以上		а	①「バッション・リング・アン・アン・ロック・マック・マック・ロック・マック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロ
該当項目が80	0%以上90%未	満	a'	②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。
 該当項目が70%以上80%未満 b			b	③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100
 該当項目が60%以上70%未満 b'			b'	
 該当項目が50%以上60%未満 c			С	
該当項目が50)%未満		d	
	評価=		項	項目 %

- ※1.機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの (システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する 各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事比率は1.0とする。

D 55 o == /==	77.0	2.1	
品質の評価計=	- リロ	%	

考査項目	細別	対象	評価対象項目				
3.出来形	Ⅲ.出来ばえ		□ ① き	め細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。			
及び	7.]連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。			
出来ばえ	建築工事		□ ③使	い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。			
	工事比率		□ ④仕	-上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。			
			□ ⑤ €	調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。			
			□ ⑥材	料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。			
			□ ⑦係	全に配慮した施工がなされている。			
			□ 87	の他			
			理由				
			(減点)該	当すればd評価とする			
			□ 出来	□ 出来ばえが劣っている。			
				評価			
a:全体的な	完成度が優れ	てい	る。b:á	全体的な完成度が良好である。c:全体的な完成度が適切である。			
d:全体的な	完成度が劣っ	てい	る。				
該当項目が90)%以上		а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価			
				すべき項目でない場合は空白のままとする。			
該当項目が80%以上90%未満 b			助 b	②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。			
該当項目が80	な当項目が80%未満 c			③評価値(%) = (評価数/評価対象項目数)×100			
				④評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。			
	評価=		項	項目 %			

- ※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。
- ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象		評価対象項目	
3.出来形	Ⅲ.出来ばえ		□ ① き	め細やかな施工がなされている。	
及び	電気設備工事		□ ②関	連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。	
出来ばえ	受変電設備工事		□ ③機	器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。	
	工事比率		□ ④環	遺境負荷低減への対策が優れている。	
			□ ⑤運	転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。	
			□ 67	の他	
				理由:	
			(減点)該	当すればd評価とする。	
			□ 出来	はえが劣っている。	
評価					
			-	全体的な完成度が良好である。c:全体的な完成度が適切である。	
d:全体的な	元成度か劣っ	てい	る。		
該当項目が90	%以上		а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価 すべき項目でない場合は空白のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b			毒 b	②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が80%未満 c			С	③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100	
				④評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。	
	評価=		項	項目 %	

- ※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。
- ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象		評価対象項目				
3.出来形	Ⅲ.出来ばえ		□ ① き	め細やかな施工がなされている。				
及び	暖冷房衛生設備 工事		□ ②関	連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。				
出来ばえ	機械設備工事		□ ③機	器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。				
	工事比率		□ ④環	境負荷低減への対策が優れている。				
			□ ⑤運	転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。				
			□ ⑥そ	の他				
				理由:				
			(減点)該	当すればd評価とする。				
			□ 出来	ばえが劣っている。				
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
a:全体的な	完成度が優れ	てい	る。b:全	全体的な完成度が良好である。c:全体的な完成度が適切である。				
d:全体的な ⁵	完成度が劣っ	てい	る。					
該当項目が90%以上 a			а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価 すべき項目でない場合は空白のままとする。				
該当項目が80%以上90%未満 b			b	②削除項目のある場合は削除後の評価項対象目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。				
該当項目が80%未満 c			С	③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100				
				④評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。				
	評価=		項	項目 %				

- ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。
- ※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事比率は1.0とする。

出来ばえの評価計= 項目 %

考査項目	細別	対象	評価対象項目						
2.施工状況	Ⅰ.施工管理		□ ①契約書第18条に基づく設計図書の照査結果を適切に処理していることが確認できる。						
			□ ②施	江計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。					
			□ ③施	江計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。					
			□ ④施	江計画書の記載内容と現場施工方法が一致しているが確認できる。					
			□ ⑤I	事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。					
			□ ⑥使	用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。					
			□ ⑦-	-工程の施工の確認の報告が、適切に行われているが確認できる。					
				設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが					
			□ 9社	確認できる。 ③社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。					
			□ ⑩独	自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。					
			□ ⑪工事の関係書類及び資料の整理がよい。						
			□ ⑫その他						
			理由:						
			(減点)	(減点) 該当すればd評価とする。					
			□ 施工	□ 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。					
			(減点)	(減点) 該当すればe評価とする。					
			□ 施工	管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。					
		•		評価					
a:施工管理:	が優れている	。b:	施工管理	lが良好である。c:施工管理が適切である。d:施工管理がやや不適切である。					
e:施工管理:		る。							
該当項目が90%以上 a			а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価 すべき項目でない場合は空白のままとする。					
該当項目が80%以上90%未満 b				②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。					
該当項目が60%以上80%未満 c				③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100					
該当項目が60	0%未満		d						
	評価=		項	項目 %					

検査員(中間)用2

考査項目	細別	対象		評価対象項目
3.出来形	1. 出来形		□ ① 須	諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
及び			□ ②施	江図等が、設計図書を満足しているが確認できる。
出来ばえ			□ ^{③放} る。	江計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認でき
			□ ④出	来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。
			□ ⑤±	来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。
			□ ⑥現	場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。
			□ ⑦瑪	場における出来形が良好で、施工の精度が高い。
			□ ⑧不	可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。
			□ 9解	体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確
			認	できる。
			□ ⑩そ	の他
				理由:
			(減点)	該当すればd評価とする。
			□ 出来	形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
			(減点)	該当すればe評価とする。
			□ 出来	形が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。
				評価
				ドが優れている。b:出来形が特に良好である。b':出来形が良好である。 ○や不適切である。e:出来形が不適切である。
該当項目が90		и • д	a a	①「対象 欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価
				すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80)%以上90%未	満	a'	②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が70%以上80%未満 b			b	③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100
該当項目が60%以上70%未満 b'			b'	
該当項目が50%以上60%未満 c			С	
該当項目が50)%未満		d	
	評価=		項	項目 %

考査項目	細別	別	対象		評価対象項目
3.出来形	Ⅱ. 品/	質			料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
及び				□ ②施	江の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。
出来ばえ	建築工	上事		□ ③材	料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。
	工事」	比率		□ 4 =	質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。
				□ ⑤施	江の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。
					は具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満 でいることが確認できる。
					ていることが確認できる。 『体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。
					外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。
				□ 9₹	の他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、であるが確認できる。
				□ ⑩不	可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。
				□ ① +	間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
				☐ (12) <i>Z</i>	の他
					理由:
		ŀ		(減点)	該当すればd評価とする。
				□品質	の管理に関して、監督職員が文書による指示を行い改善された。
				(減点)	該当すればe評価とする。
				□品質	が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。
		!			評価
a:品質が特	に優れて	ている。	a' :	:品質が個	憂れている。b:品質が特に良好である。b':品質が良好である。
c:品質が適	切である	3。d:	品質	「がややオ	S適切である。e:品質が不適切である。
該当項目が90	0%以上			а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価 すべき項目でない場合は空白のままとする。
該出頂日が80	າ% IV ⊨ (an%±:	法	2,	
該当項目が80%以上90%未満 a'			②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。		
該当項目が70%以上80%未満 b					③評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) ×100
該当項目が60				b'	
該当項目が50			満	С	
該当項目が50	0%未満			d	
	評	価=		項	項目 %

- ※1. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの (システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する 各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象		評価対象項目	
3.出来形	Ⅱ. 品質		□ ①機	。 材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。。	
及び	電気設備工事	;	□ ②放	『工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。	
出来ばえ	受変電設備工	事	□ 3機	終材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。	
	工事比率		4 fi	l質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。	
			□ ⑤然	E工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。	
			□ ⑥ 施	E工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。	
				ステムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満 ていることが確認できる。	
			□ ⑧シ	ステムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。	
			□ 97	「可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等により確認できる。	
			□ ⑩#	『間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。	
			□ 11)通	星転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。	
			□ 10 <i>2</i>	一の他	
				理由:	
			(減点)	該当すればd評価とする。	
			□品質	〔 の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。	
			(減点)	該当すればe評価とする。	
			□品質	記が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。	
				評価	
a:品質が特に優れている。a':品質が優れている。b:品質が特に良好である。b':品質が良好である。 c:品質が適切である。d:品質がやや不適切である。e:品質が不適切である。					
該当項目が90%以上			а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価 すべき項目でない場合は空白のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満		a'	②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。		
該当項目が70%以上80%未満 b		b	③評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100		
該当項目が60	0%以上70%	未満	b'		
該当項目が50	0%以上60%	未満	С		
該当項目が50)%未満		d		
	評価=		項	項目 %	

- ※1. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する 各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象		評価対象項目
3.出来形	. 品質		□ ①機	材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
及び	暖冷房衛生設備 工事等工事		□ ②施	江の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であるが確認できる。
出来ばえ	機械設備工事		□ ③機	材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。
	工事比率		□ 4 =	質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。
			□ ⑤施	江の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。
			□ ⑥施	江の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。
			Ш	ステムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を としていることが確認できる。
			□ ⑧シ	ステムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。
			□ 9不	可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。
			□ 10 #	間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
			□ ①運	転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。
			□ 127	の他
				理由:
			(減点)	該当すればd評価とする。
			□ 品質	の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
			(減点)	該当すればe評価とする。
			□品質	が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。
				評価
				憂れている。b:品質が特に良好である。b':品質が良好である。 S適切である。e:品質が不適切である。
該当項目が90%以上		а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価	
法 业语只长0/	00/1V L 000/ ±	洪	,	すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満		a'	②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が70%以上80%未満			③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100	
該当項目が60			b'	
該当項目が50		- 満	С .	
該当項目が50	1		d	
	評価=		項	項目 %

- ※1.機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

品質の評価計=

考査項目	細別	対象		評価対象項目
3.出来形	Ⅲ.出来ばえ		□ ① <i>ŧ</i>	め細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。
及び	********		□ ②関]連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
出来ばえ	建築工事		□ ③使	い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。
	工事比率		□ ④仕	-上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。
			□ ⑤色	調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。
			□ ⑥材	料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。
			□ ⑦係	全に配慮した施工がなされている。
			□ 87	の他
			理由	
			(減点)該	当すればd評価とする
			□ 出来	とばえが劣っている。
				評価
a:全体的な	完成度が優れ	てい	る。b:ɗ	全体的な完成度が良好である。c:全体的な完成度が適切である。
d:全体的な ⁵	完成度が劣っ	てい	る。	
				①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価
該当項目が90%以上		а	すべき項目でない場合は空白のままとする。	
 該当項目が80%以上90%未満 b		b	②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が80%未満 c		С	③評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
				④評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。
	評価=		項	項目 %

- ※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。
- ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象		評価対象項目	
3.出来形	Ⅲ.出来ばえ		□ ① き	め細やかな施工がなされている。	
及び	電気設備工事		□ ②関]連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。	
出来ばえ	受変電設備工事		□ ③機	器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。	
	工事比率		□ ④環	境負荷低減への対策が優れている。	
			□ ⑤運	転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。	
			□ 6₹	の他	
				理由:	
			(減点)該	当すればd評価とする。	
			□ 出来	ばえが劣っている。	
				評価	
			-	全体的な完成度が良好である。c:全体的な完成度が適切である。	
d:全体的な完成度が劣っている。					
該当項目が90%以上 a			а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価 すべき項目でない場合は空白のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b		b	②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。		
該当項目が80%未満 c		С	③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100		
				④評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。	
	評価=		項	項目 %	

- ※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。
- ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

検査員(中間)用8

考査項目	細別	対象		評価対象項目
3.出来形	Ⅲ.出来ばえ		□ ① き	め細やかな施工がなされている。
及び	暖冷房衛生設備 工事		□ ②関	連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
出来ばえ	機械設備工事		□ ③機	器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。
	工事比率		□ ④環	境負荷低減への対策が優れている。
			□ ⑤運	転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。
			□ ⑥₹	の他
				理由:
			(減点)該	当すればd評価とする。
			□ 出来	ばえが劣っている。
				評価
a:全体的な d:全体的な				全体的な完成度が良好である。c:全体的な完成度が適切である。
該当項目が90%以上 a			а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価 すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満 b		b	②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が80%未満 c		С	③評価値(%)=(評価数/評価対象項目数)×100	
				④評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。
	評価=		項	項目 %

- ※1.機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。

※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

出来ばえの評価計=	項目	%
-----------	----	---